

◇調査・研究事業：国際化支援研究会

外国人労働者の採用制度の活用・支援マニュアルの研究開発

1. 事業の背景・目的

2018年度の本部の調査研究事業として「外国人労働者の採用制度の活用・支援マニュアルの研究開発」に取り組みました。

国際化支援研究会(以下、当研究会)ではこれまで海外展開やインバウンドについて調査研究を行ってきましたが、昨今の中小企業の人手不足対策の解決策の一つとして外国人労働者の採用につき、内なる国際化を支援するという観点で今回のテーマとしました。

我が国の少子・高齢化に伴う人手不足は深刻で、特に中小企業にとっては事業機会を逸するだけではなく、企業の存続にもかかわる事態となっています。当研究会では埼玉県において外国人を採用している中小企業の実態調査を行った上で、外国人労働者の採用制度や活用方法、および社内での受入れ体制構築などのマニュアルを作成し、中小企業診断士がコンサルティング活動に使うことを目的としました。また、今後の法制度の改正に対応したあるべき姿に向けて提言を試みることにしました。

2. 実施内容

(1) 研究会に委員会を編成

当研究会会員による委員会を編成し(24名)、研究会活動の一環として、調査研究事業を開始しました。

(2) ヒアリング実施

埼玉県内において外国人(技能実習生・高度人材・定住者等)を採用している中小企業20社にヒアリング調査を実施しました。また、企業以外の関連団体として、外国人技能実習生では、受入窓口となる監理団体と日本語学校、そして留学生を受け入れている専門学校にヒアリング調査を実施しました(合計6団体)。

(3) 考察・マニュアル作成

ヒアリング内容から、中小企業が採用時また採用後に苦労した点や良かった点、また工夫している点から一般化を図り、外国人を採用するための在留資格や技能実習制度などの基礎知識を網羅した上で、マニュアルとして使えるよう作成しました。



3. 報告書目次

第1章:「事業概要」

第2章:「外国人労働者の就業の現状と問題点」

「国内の雇用状況」を概観し、「増加する外国人労働者の実態」を把握し、国の外国人労働者の採用制度をまとめて問題点の確認

第3章:「埼玉県における中小企業の外国人労働者の採用実態」

「外国人を雇用している企業」「技能実習生の監理団体」などへのヒアリングの実績を分類、整理して、在留資格別にまとめ

第4章:「外国人の採用にあたってのポイント」

企業に対して支援をする際のマニュアル

- 1)目的の明確化
- 2)採用方法
- 3)社内の受入れ体制構築
- 4)雇用管理・届け出
- 5)リスク・トラブル対応

第5章:「今後の外国人の雇用に向けて」

「日本社会への影響・効果」を想定し、「中小企業への外国人労働者雇用の提言」および「外国人労働者を受け入れる日本社会の変容への期待」と

「外国人労働者の採用制度自体の改善に向けての提言」

4. セミナー内容

日時:2019年2月23日(土) 14:00~18:00

場所:埼玉県創業・ベンチャー支援センター

「新都心ビジネス交流プラザ4階 A会議室」

内容:

①調査研究事業報告 : 国際化支援研究会

②基調講演

講師:R&A Consulting(株) 代表取締役 佐藤僚祐氏

③パネルディスカッション

(株)奥井組、(有)昇栄興業

R&A Consulting(株)、ハート・トラスト協同組合

④懇親会

88名もの参加者の中、報告書の概要説明、基調講演、パネルディスカッションを通して、多くの中小企業経営者・支援機関・診断士からの好評を博しました。

